



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会社名 旭ダイヤモンド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 川嶋 一夫
(コード番号 6140 東証第1部)
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 徹
(TEL (03) 3222 - 6311)

当社株券等の大量買付行為への対応策（買収防衛策）の非継続（廃止）について

当社は、平成24年5月11日開催の取締役会において「当社株券等の大量買付行為への対応策（買収防衛策）」（以下「本プラン」といいます。）を決議し、同年6月27日開催の第93回定時株主総会における株主の皆様のご承認を得て、継続いたしました。

本プランの有効期間は、平成27年6月25日開催予定の第96回定時株主総会（以下「本定時株主総会」といいます。）終結の時までとなっておりますが、当社は本日開催の取締役会において、本定時株主総会終結の時をもって本プランを継続せず廃止することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針（会社法施行規則第118条第3号本文に規定されるものをいいます。）に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組み（会社法施行規則第118条第3号ロ）として本プランを継続しております。

当社は、長期的な経営目標として「GLOBAL510」を掲げ、連結売上高500億円、世界のダイヤモンド工具推定需要のシェア10%を確保し、世界をリードする「グローバルダイヤモンド工具メーカー」となることを目指し取り組んでまいりました。この度、策定した「中期経営計画2017・Polish Up Asahi・」は、「GLOBAL510」を早期に達成しグローバルブランドとしての地位を確立するとともに、企業としての持続的な成長と企業価値の向上を目標とするものです。

これらの中期経営計画を着実に実行していくことが、当社とステークホルダーとの信頼関係を一層強固に築き上げ、当社の企業価値の向上及び会社の利益ひいては株主共同の利益の確保・向上につながるものと考えております。

当社としましては、今回有効期限をむかえる本プランの取扱いについて、企業価値の向上及び会社の利益ひいては株主共同の利益の確保・向上の観点から、国内外の機関投資家等の声も参考にしつつ、慎重に検討いたしました。その結果、本プランの導入時と比較すると当社を取り巻く経営環境が変化しており、本プランの当社における必要性が相対的に低下したものと判断し、本日開催の取締役会において、本定時株主総会終結の時をもって本プランを継続せず廃止することを決議いたしました。

なお、当社は、本プランの有無に関らず、今後とも中長期的な企業価値の向上及び会社の利益ひいては株主共同の利益の確保・向上に全社をあげて取り組んでまいり所存です。また、本プランの非継続（廃止）後も引き続き、大量買付行為を行おうとする者に対しては、大量買付行為の是非を株主の皆様が適切に判断するための必要かつ十分な情報の提供を求め、あわせて当社取締役会の意見等を開示し、株主の皆様の検討のための時間の確保に努める等、金融商品取引法、会社法その他関係法令の許容する範囲内において、適切な措置を講じてまいります。

以 上

* 中期経営計画の詳細につきましては、本日公表の「中期経営計画策定に関するお知らせ」を参照下さい。